



発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 石川 富 康  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 7月24~25日 登攀技術講習会・検定会 (南山)

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

雪山技術講習会に参加のみなさん

PHOTO 中平等新一



平成22年度定時総会開く

## 各種研修会や講習会・検定会 一般対象の登山教室など決める

平成22年度愛知県山岳連盟定時総会が、4月18日(日)午後1時半より県スポーツ会館大会議室に於いて開催され71人(内委任状19人)が出席した。

関谷常任理事から本日は81人のうち71人の出席者があり、定款第19条による2分の1以上の出席率をクリアしており、この総会が成立した旨宣言がされ、中平等議長が会議を進めた。

はじめに石川会長は「本日は多くの方が集まって頂き有難うございます。今年は天候不順なこともあり、あちこちで遭難事故があったようですが、愛知岳連ではいろんな講習会を実施しておりますので積極的に参加してもらい、技術や知識を習得して事故のないよう努めて頂きたいと思えます。今日はよろしく協議の程お願いします」と挨拶。

つづいて議事に入った。まず各部の報告が総務部を伊東事務局長、企画部を関谷雅樹、指導委員会勝野進生、自然保

護部を杉本三郎、遭難対策は高橋優、競技部団体選手強化を杉本憲広、高体連岩秩満、北谷小屋管理部を杉本三郎の各常任理事が発表し、了承された。また、広報担当の中平等議長は今年5月発行の岳連ニュースの内容について述べた。

引きつづき、平成21年度決算報告を丹羽史泰常任より報告され、丹羽三郎監事により監査報告がされ承認された。また、平成22年度事業計画を北村理事長、予算案を丹羽常任が説明し、それぞれ承認された。

その他の項目では、会員証について早期に発行して欲しいとの要望があり、これについて会員名簿を岳連が作成した用紙にきちんと記入してもらうこと。共済保険についての取扱い方法。北谷小屋の補修費用。指導部から10年度の検定員を募集している旨。事務局から会員名簿作成にあたり、代表者、理事に変更があった場合は早急に連絡してほしい、などの意見が出されそれ

ぞれた承された。  
最後は、阿部副会長が閉会のことばを述べて、15時総会を終了した。



### 平成22年度理事

鈴木富雄 (高体連) 山本恭嗣 (アイシン) 徳永三男 (イノアック) 相山みどり (岡崎山岳会) 岩瀬幹生 (蒲郡山の会) 豊田豊美 (春日井山岳会) 大野健二 (小牧山岳会) 加藤和美 (嶺山岳会) 織田善夫 (中央山岳会) 伊東敦彦 (中央アルパイン) 谷澤昌夫 (トヨタ自動車) 佐藤匡俊 (豊田自動車) 森田金明 (豊田山岳会) 白井良岳 (豊川山岳会) 相川菊次郎 (道標山岳会) 水野起己 (東海電々) 丹羽大輔 (名

古屋山岳会) 鬼頭健一 (名古屋山の会) 安島正交 (名古屋白熊山岳会) 加藤理恵子 (タールペハイジ) 石原博之 (名古屋深根会) 杉本三郎 (テック山岳会) 加藤徹 (名古屋登稜会) 荻須昭大 (RCC) 江頭孝治 (デンソー) 山下利明 (フラサー工業) 大見栄一 (碧稜山岳会) 木村行宏 (三菱電機) 三浦信良 (三菱重工大江) 中濱幸一 (三菱重工名護) 矢沢実 (JRR東海) 安藤学 (峠の仲間) 市川義行 (JACC東海支部) 鳥居瑛 (這い松山岳会) 浅井祐二 (愛知県庁) 野間修 (安城こもれび会) 中山秀樹 (豊橋山岳会) 中井忠徳 (ACC) 青木清隆 (FMC) 村田征男 (愛知山岳会) 鈴木清彦 (愛知学院大学) 浅井慎平 (愛知医科大学) 羽田明史 (GSA) 浅野直子 (千種アルパイン) 水野保夫 (MMC岡崎) 伊賀井隆 (大江山山岳会) 内藤善一 (やまびこ山想会) 野村真幸 (名古屋白樺会) 清水敏春 (名古屋山桂会) 谷川武 (知多山峰会) 山田義清 (山歩の会) 今枝清子 (岩倉山岳会) 西山秀夫 (東海白樺山岳会) 鈴木則男 (銀嶺山友会) 田中利明 (名古屋愛山会) 辻雅彦 (FRC) 酒井彰彦 (三河くらぶ) 星一男 (TSC) 渡邊正輝 (チーム猫屋敷)

### 愛知岳連雪山技術講習会

#### クラス別に雪山の技術を学ぶ!!

目立つた受講生の積極的な行動

愛知岳連雪山技術講習会 検定会 研修会が、3月14日(土)15日(日)の2日間御岳七合目周辺に於いて実施された。

この講習会の趣旨として「積雪期の山は雪崩遭難・雪庇踏抜き・滑落などが避けられない危険としてイメージされることが多く、雪山を敬遠する登山者もいると思いますが、雪の変化を科学的に理解し、特徴を利用することで危険の多くは回避できるものです。また、風雪によりルートを見失ったり、寒冷による身体的・精神的な困難を乗り越える努力も必要です。正しい知識をもち練習を積み重ねて適切な判断と行動のできる登山者となり、安全な登山をしていきます。」

初日は、9時30分に指導員が御岳ロープウェイ切符売場に集合し、レストハウスでスケジュールと講習会の打ち合わせを行った。10時にロープウェイで山頂駅に移動し、右側の斜面で講習会での実技の確認をしあう。

15時、講師・講習生33人が集合し、開講式のあとそれぞれクラス別に分かれて、会場となる七合目ヘラッセルをしながら向かった。直ちにテントの設営となりミーティングを終えて、それぞれテント内で懇親を計った。

2日目、7時講習会を開始する。まず、Aコース、Bコース、Cコースの3クラスに分かれ、Aコースは「雪山登山における基本技術の習得」で、雪山でのルートの見極め、基本歩行(登下、斜下、アイゼン歩行、トラバース)と滑落停止やパーク技術、またピーコン操作などの基本を学習する。

Bコースは「雪山でのロープワーク」で、雪山でのルートの見極め、アンカー支点の作成、スタンディングアックスピレイ、ピーコンを使った雪崩搜索。

Cコースは「雪山での救助技術」で、雪山でのルートの見極め、ピーコンを使った雪崩搜索、雪上救助・搬送、パーク技術。

以上のようなメニューで、各コース2〜3班に分かれ、それぞれ適した場所を選定して講習を行った。  
14時30分、講習会は終了し各コースによる指導員の講評と、雪山に対する注意点が述べられて、2日間に亘った講習会を閉講した。  
(中平等新二)

#### 意欲的な講習生に発奮

指導員 坂口公美

3月13日、14日雪山講習会が御嶽山で行われた。私は指導員として参加したのでその概要を報告する。

3月13日午前中は、ロープウェイ終点駅からすぐ上の北側斜面を使用して、指導員研修会が行われた。日本山岳協会がこの2月に大山(鳥取)で開催した「氷雪技術に関する研修」に参加された松尾さん(千種アルパイン)が講師を務められた。内容はスタンディングアックスピレイの構築、スノーボードやピッケル支点による懸垂下降、およびその回収など、実践的に急な斜面で行い、その信頼性を体感した。そのなかでも、プラトリーについての考察が興味深かった。

午後3時、講習生集合により講習会スタート。私はこの2日間通してAコース(初級)の担当となった。本日の予定は幕営予定地の2200m付近まで登り、森林帯でのテント泊である。そこはロープウェー終点駅より尾根上を西に登ったところであり、金剛堂のある尾根より1本北の尾根になった時、講習生の一人が「地図を見たい」と言い出した。大歓迎である。地図上で目的地を指示し、講習生6人でルートファインディングしながら進んでもらうこととする。最初、夏道のトレースにつられて進んでしまったが、途中で間違いに気付引き返す。ラッキーなことに昨日迄の降雪で、行くべきところにトレースは無く、練習にはうってつけ。先頭を交代しながら、皆でラッセルとルートファインディングを実践し、足下の感触を確かめた。暗くなる前に何とか幕営予定地に到着。銘々でテントを張るが、ベースとなる10人用テントも上げたので、そこで親睦会や情報交換などできた。



雪上でアンカーのとり方学ぶ

の扱い、滑落停止などを練習したのち、私達の班は森林限界を超えて2600m付近まで登ることとする。快晴で視界も良く、尾根や谷の雪の様子を見て、また彼らに先頭を任す。森林限界を超えると風が当たると猛烈な風が吹いた。にあがると猛烈な風が吹いた。皆よく歩け、自然に耐風姿勢もとれていた。緊急時を想定してみたりもした。その周辺で歩行練習と想っていたが、あまりの風の強さに危険と判断し、下ることに。その途中、小さな急斜面を見つけてはザックを背負ったままの滑落停止や、かけっこなどして雪と戯れた。森林限界までもどり、シェルターの作成、ビーコンの基本的な特性などメニューをこなし、雪崩について学び

たいという講習生のリクエストにこたえてピットを掘り、コンプレッションテストのデモなどもした。皆、やる気があり、自立を目指している。時間はいくらあっても足りない。もう1パーティーは幕営可能な雪洞を掘って、その快適性を体感しようとした。

午後3時、予定通りロープウェー終点駅周辺で閉講となり、無事解散となった。

① 今回気がついた点は、案内が行き届かなかったのか、講習生が少なかったのが残念だった。

② 高木さん(GSA)の作成した資料が大変詳しく、よく勉強されていると感じた。

③ 今回より指導員だけの研修会が開かれるようになり、講習後の反省会ではその評判がなかなかよかった。

講習会や勉強会では、それに携わる役員やスタッフが多大なエネルギーをつぎ込んでいる。しかしそれも、講習生の新たな一歩につながれば、報われる。雪の事は雪の上でしか、風の事は風に吹かれなければ学べない。井の中の蛙にならず、岳連のメンバーには講習生、講師問わず、どんどん参加して欲しい。それによりお互いに切磋琢磨して、

より高みに登れると私は信じている。

(春日井山岳会)

指導員をめざして

名古屋漢検会

石原 博之

今回、指導員検定で雪上講習会に参加させていただきました。

実は10年前、現在所属している名古屋漢検会に入ってから初めて岳連の講習会に参加したのですが、どうもその時の講習会の雰囲気になじめなかった事と、指導員になると忙しくて自分の山登りができなくなるぞ、とアドバイス(?)をくれる先輩方がいた事もあり、また、実際自分も忙しかったので、ずっと岳連の行事には関わる事がありませんでした。

そのせいか自分の山登りはそれなりに続けてこられたのですが、一方で山の技術や理論がいい加減だったり、自己流に陥りすぎていると感じていました。また、ここ数年会の新人が定着しない状況が続いており、きちんと新人を指導できるスキルを身につけたらと思うようになり、本年、指導員検定を受けさせていただきました。

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店

MOUNT & OUTDOOR GOODS PRO SHOP  
ステラアルピーナ  
(旧シャッツバーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739  
営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

うなぎ

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
TEL <052> 951-1166 番  
営業時間 午前 11:00~午後 2:30  
午後 4:00~午後 8:00  
定休日 日曜日・第二・第三月曜日